

東京都産グリーン水素と下水汚泥由来のCO₂を活用した e-メタン製造実証について東京都と協定締結

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）は、このたび、東京都が公募した「東京都産グリーン水素と下水汚泥由来の二酸化炭素によるグリーンメタン製造（合成）事業」（以下「本事業」）に採択され、本事業の実施に向け、東京都と協定を締結しました。

本事業は、東京都が大田区京浜島にて製造するグリーン水素と、大田区昭和島（森ヶ崎水再生センター）における下水汚泥由来の混合ガス中^{*1}のCO₂を原料として、メタネーション装置にてe-methane（以下「e-メタン」）を製造するものです。なお、下水汚泥から発生する混合ガス中のCH₄とCO₂を分離せずに、原料として配管により連続的に供給しながらe-メタン製造を行う取り組みは国内初になります。

東京ガスグループは、経営ビジョン「Compass2030」において「CO₂ネット・ゼロへの挑戦」を掲げ、2022年3月よりe-メタンの製造実証試験^{*2}を行ってきました。これまで獲得した知見を活かして本事業を実施することでe-メタンの地産地消の実用化に向けた検討と課題を抽出するとともに、e-メタンの普及を促進し、政府が掲げる「2050年カーボンニュートラル」に貢献していきます。

<事業概要>

事業期間	2025年4月～2027年3月 ※2025年度から基本計画の策定・設置工事等を行い、2026年度中にe-メタン製造開始予定	
e-メタン製造場所	東京都大田区昭和島二丁目5番1号 森ヶ崎水再生センター東処理施設内	
e-メタン製造量	12.5 Nm ³ /h (IHI製)	
原料	H ₂	大田区京浜島に整備予定の水素製造プラントで製造したグリーン水素 (2025年中完成予定、水素カードル運搬)
	CO ₂	下水汚泥由来のCO ₂
都の事業負担上限額	3億円	



グリーン水素製造プラント

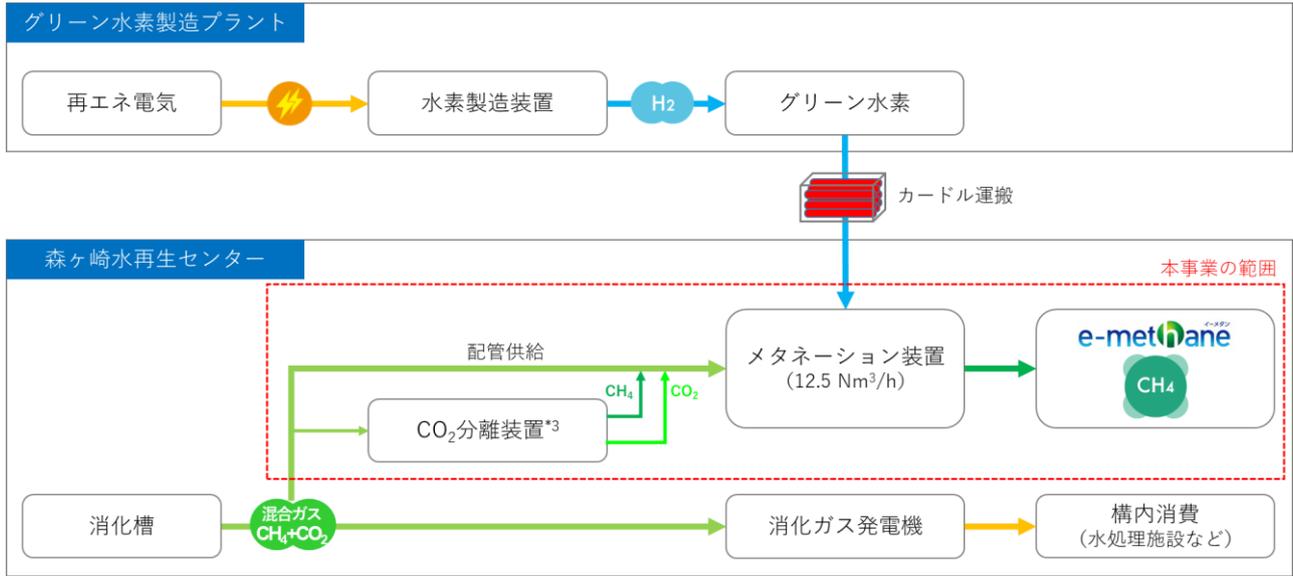


小型メタネーション装置



下水汚泥由来のCO₂
が発生する消化槽

<設備フロー図>



*1: 下水汚泥を処理する工程で発生するバイオガスで、CH₄とCO₂の混合ガス

*2: 2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けメタネーション実証試験を開始 (2022年3月発表)

*3: 混合ガスのCO₂分離実証を目的としたもの

以上